

親潮

北水同窓会誌

2018
312
No.2

第312号
平成30年度 第2号

OYASHIO

北水同窓会のEメールアドレスが変更になりました | ホームページをリニューアルしました
hokusualumni@gmail.com | <http://hokusui.net> 



特集 北水の今

新任若手教員の紹介

総会案内 会員の受賞 各種行事開催報告 クラス会報告ほか

親潮

第312号
平成30年度 第2号
OYASHIO

CONTENTS

第99回(2019年)北水同窓会定期総会 開催案内	3
特集 北水の今	
新任若手教員の紹介	4
会員の受賞	9
青柳直樹氏(平2化)・西村一彦氏(平2化)	
おしょろ丸グッズの開発	10
井尻成保(平4ソ)	
北海道大学ホームカミングデー 2018	
水産学部卒業生の集い	11
高木 力(平元ギ)	
支部会・クラス会報告	12
1964年入学or1968年卒業 北大卒業50周年記念パーティー	
第5回 鰯魚会報告	
第4回 昭和44年卒北水漁業学科同期会	
第5回「漁火会」開催報告	
第60期(昭和45年卒業)同期会の報告	
北水同窓会長崎支部総会	
北水同窓会長崎支部有志飲み会報告	
昭和53年度 特設専攻科卒業同期会	
北水同窓会宮城県支部平成30年度総会報告	
学位取得者	19
会員の異動	19
会員死亡通知	20
印刷体の名簿の存続についてのアンケート結果	22
親潮投稿規定・編集後記	22

表紙の説明

■東京深沢海洋少年団から初代忍路丸の船名板の返還

木村 暉夫(昭55ギ)

初代『忍路丸』の船名板が、東京深沢海洋少年団から水産学部に返還されました。受け渡し式が、2017年7月29日にベーリング海での実習を終え東京港に入港した『おしょろ丸』V世の船上で行われました。初代『忍路丸』は、1909年に建造され、1926年までの18年余の間に総航程約5万海里の航海を行い、延べ200名ほどの学生が漁業実習等で乗船しました。退役後に、少年団日本連盟(現ボーイスカウト日本連盟)に譲渡され「義勇和爾丸」と改名し海洋部練習船となり、我が国海洋少年団の発展に貢献しました。船名板は、少年団日本連盟会員の田村喜一郎さんにより、またその後は東京深沢海洋少年団副団長の加藤和久氏により、保管されてきました。返還された船名板は北大総合博物館分館「水産科学館」に展示し、その歴史を語り継いでいきます。

新任若手教員の紹介

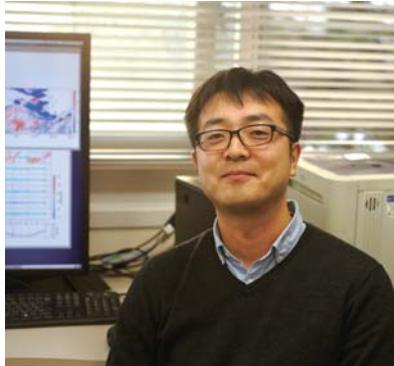
阿部 泰人
(特別会員)

海洋計測学講座
助教

Q着任時期と

前職は?

2016年11月、東
北大気海洋研で特
任研究員、その前
は北大低温研でボ



スドクと非常勤研究員をしていました。出身は東北大院の理
学研究科です。

Qおもな研究テーマは?

衛星を用いて外洋域の環境を物理学的な視点から探って
います。水温、海色や海面高度に関する衛星観測は1980~90
年代から続いているのですが、海表面の塩分は2011年にマイ
クロ波センサーを搭載した衛星(Aquarius)が打ち上げられ、
初めて観測が可能となりました。私は主にこの衛星のデータ
を利用した研究をおこなっています。

Q今後の展望は?

「海の流れを知りたい」というのが研究の最大のモチベー
ションです。観測精度の関係でこれまで熱帯~亜熱帯域が
主な研究対象でしたが、せっかく北海道に来たので北の海を
対象とした研究もやってみたいですね。手始めに津軽海峡の
研究に着手しました。

Q函館の印象&休日の過ごし方は?

これまで暮らしてきた町は100万人規模の都会が多かった
のですが、函館はコンパクトでのんびりした印象です。北海道
에서는 寒さもマイルドで住みやすく、イカなど海産物が美味
しいのも良いですね。休日は近郊の温泉巡りをすることが多いです。お気に入りは湯川温泉。近くには地熱発電所もあり大地の胎動を感じることができます。

★ひと言★

取材時には温泉話にすっかり花が咲いてしまい、かなりの温泉マニアと
お見受けしました。

長谷川 浩平(特別会員)

海洋計測学講座
助教

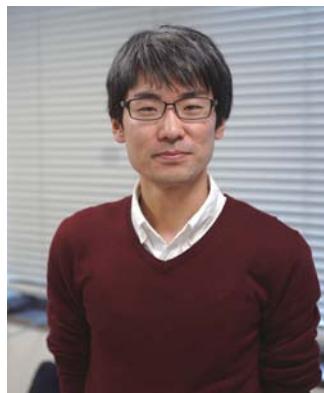
Q着任時期と前職は?

2018年4月、茨城県の波崎にある水産工学研究所で研究

支援職員として水産音響
の研究に従事しており、学
部と大学院は東京海洋大
学で学びました。

Qおもな研究テーマは?

音波を使った水中の生
物の定量化技術の開発で
す。従来の魚群探知機は一
種類の音波だけを使ってい
ましたが、近年では広帯域
(ブロードバンド)に対応し
た機器が使われはじめで
います。様々な周波数を発射することにより、これまで不
可能とされてきたスルメイカなどの鰐(うきぶくろ)を持たない種や
稚魚の定量化を目標に、水産工学研究所と共同で進めている
ハードウェア開発と現場計測の両面から取り組んでいます。



Q今後の展望は?

現在は魚群探知機の研究が主ですが、スキャニング・ソ
ナーの研究のウェイトも増してゆきたいと考えています。

Q今函館の印象&休日の過ごし方は?

北国での暮らしは初めてなので寒さが堪えています。海産
物全般、なかでも貝類が種類豊富で美味しいですね。以前よ
くやっていたサッカーをこちらでも再開したいのと、せっかく
北国に来たのでスキーも始めてみたいですね。

★ひと言★

冬の冷え込みはこれからと思いますが(取材は12月)、寒さに負けずがん
ばって下さい!

趙 佳賢(じょ・かひよん)
(特別会員)

水産食品科学講座
助教



Q 出身地、

前職と着任時期は?

韓国北部、ソウルに近い京
畿道(きょんぎどう)の出身
です。北大農学研究院の食
品栄養学研究室で学位取得
後引き続きポスドクとして糖

類による炎症反応の調節機能を研究しており、2018年4月に
着任しました。

Qおもな研究テーマは？

農学部時代から引き続き食物成分による免疫応答の調節を研究しています。水産学部に着任したので未利用の海洋資源を利用した機能性食品の開発、具体的には海藻だとか魚（鮭のホッチャレ）を使って健康に良い食品を作り出そうとしています。うまく行くか未知数の部分もあるのですが、明るい未来を信じて頑張っています。

Q今後の展望は？

現在の開発に目処がついた暁には、マクロファージの機能に集中して抗炎症効果のメカニズムを明らかにしたいと考えています。

Q函館の印象&休日の過ごし方は？

綺麗な街で観光スポットも多く大好きになりました。夜景が有名な函館山ですが夕暮れ時の美しさは絶対オススメです！研究室から海が見えると海産物をはじめとした食べ物がなんでも美味しいのも嬉しいです。

★ひと言★

函館の街がとてもお気に召したようで良かったです。ホッチャレから健康食品とは驚きですが、早く完成すると良いですね。

米山 和良(平18修環)

水産工学講座
助教

**Q着任時期と前職は？**

2016年7月、鹿児島大学水産学部で助教として6年半勤めました。

Qおもな研究テーマは？

映像情報により魚の種類や大きさを推定する手法の開発です。養殖漁業が世界的に進展するなか、生け簀を泳ぐ魚の大きさを水中で把握する事にはとても大きなニーズがあります。例えばクロマグロなら体重が数kg違うだけで出荷額が1万円以上変わってしまいますよね。大企業が経営する施設ではステレオカメラを利用した高額なシステムで計測をしていますが、私は小規模な経営体でも使えるよう、民生品のビデオカメラを使い撮影した映像を人工知能(AI)や深層学習(ディープ・ラーニング)により解析する、安価なシステムの開発に取り組んでいます。

Q今後の展望は？

もともとは生物の行動解析の研究をしていたのですが、計測機器を背負わせるには小さすぎる種苗の行動解析のため

画像を使い始めて今日に至っています。映像による計測技術の確立のメドが付いたら、行動の研究にも再度取り組んでみたいと考えています。

Q函館の印象&休日の過ごし方は？

5年間の大学院時代を函館で過ごし、6年振りに帰ってきました。やはり夏は涼しくて過ごしやすいですね。着任以来学会の雑用とかで忙しい日々が続いているのですが、冬の間は大沼でのワカサギ釣りがささやかな楽しみです。

★ひと言★

ワカサギは朝の「チョイ釣り」が効率的だそうです。こんど試してみます！

熊谷 祐也(平17資)

水産資源開発工学講座
助教

**Q着任時期と前職は？**

北大水産科学研究院を修了後9年間のポスドク修行を経て、2018年8月に助教として着任しました。最後の所属は筑波市にある農研機構の生物機能利用部門で、コムギのゲノム編集技術の開発に携わっていました。

Qおもな研究テーマは？

海藻のゲノム編集技術の開発です。前職ではコムギを対象に同様の研究を行ってきましたが、本研究院ではダルスやノリ類といった紅藻類を主な対象として着手しました。

Q今後の展望は？

手法が開発できた暁には各遺伝子の働きを明らかにして、さらに将来的には寒天やタンパク質の収量増加などの特性をもった品種作出に挑みたいと考えています。

Q函館の印象・休日の過ごし方は？

久しぶりに函館に戻って来て、コンビニの数が増えているのに驚きましたが、その一方で昔ながらのお店も数多く残っている点にはホッとしました。趣味は山スキー、そして言葉が通じないような辺境の国々を旅することです。両者の共通項は「予定調和」から外れていることでしょうか。

★ひと言★

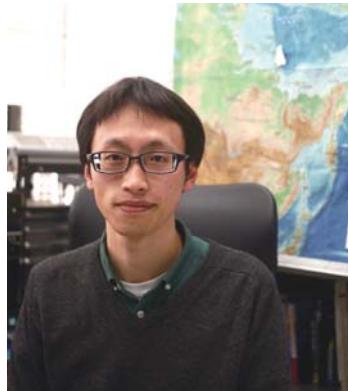
叙先生のピペット(シングル)に対抗して12連式のピペットを手にポーズを取って下さいました。どうもありがとうございました



松野 孝平

(平20海生)

海洋生物学講座
助教



Q 着任時期と前職は？

2017.10.1. 豪州南極局の研究所とタスマニア大にJSPS海外特別研究員として派遣されました。

Q おもな研究テーマは？

極域の環境変動が動物プランクトンに与える影響を調べています。大学院生在学中とその後3年のポスドクの間は北極域を研究対象としてきましたが、その後南極にフィールドを移し、再び北へと帰ってきたところです。

Q 今後の展望は？

南極域研究にも引き続き関わり続けたいし、着手したばかりの植物プランクトンの研究も深めて動植物間の相互関係を探ってみたいですね。水産学部ならではのナマコなど増養殖対象種に関する研究や、陸水域の調査にも着手したところです。

Q 今函館の印象＆休日の過ごし方は？

函館での生活は4年振りなので、それ程大きな変化は感じていません。学生時代にワンゲル部に所属していて、今でも冬山を見ると心がざわづきますが、なかなか暇が見つけられずまだ登れていません。息抜きといえば、妻と交替で担当している料理ぐらいでしょうか。

★ひと言★

今年度は特に忙しい松野先生、早く山に登れるようになると良いですね。

高橋 勇樹(平22海資)

水産工学講座
助教



Q 着任時期と前職は？

2018年4月、水産研究教育機構の水産工学研究所で3年間にわたり研究員として勤務していました。

Q おもな研究テーマは？

漁具の流体力学的解析です。従来この分野の開発設計は水槽実験により行われていたのですが、コンピューターモデルによるシミュレーションで完結するシステム開発に取り組んでいます。これまでの漁具にくわえ養殖施設内の水の流れに関しても研究を始めています。

Q 今後の展望は？

漁業とは様々な「知恵」の集合体といえますが、これまで勘や経験に頼ってきた部分も少なくありません。就業者の世代交代が進むなか、これらを定量的なシステムとして定着させることで漁業現場に貢献できればと考えています。

Q 函館の印象＆休日の過ごし方は？

3年ぶりなのであまり変化は感じていませんが、雪は増えた気がします(特に昨冬)。妻にとって函館は初めての地だったので観光スポットを色々見て廻りましたが、そろそろ一巡した感じですね。大学時は軽音でドラムを叩いていたので、そのうち再開したいと考えています。

★ひと言★

同じ部門の皆さんから離れて4階の研究室をお使いの高橋先生、広々として羨ましい反面少し寂しい印象でした。早く2階に引越しできると良いですね。

田城 文人(平18生)

水産科学館(水産学部併任)
助教



Q 着任時期と前職は？

2018年4月、京大の舞鶴臨海実験所で特任助教をしていました。

Q おもな研究テーマは？

専攻は魚類分類学ですが、特に対象のグループを限定せずに手広く研究しています。学位論文はタンガニイカ湖のシクリッドでしたし、深海性のウナギの仲間や生物地理学的な研究にも興味があります。現在の「本籍地」は北大総合博物館で、23万点にのぼる所蔵標本を維持管理しながら更に充実してゆく責務を負いつつ、水産学部の教員も併任しています。

Q 今後の展望は？

舞鶴に勤務していた頃には奇魚珍魚を求めて毎日のように



に市場に通い、その生物相の奥深さに魅了されました。「日本海の魚類相」はライフワークとして是非取り組んで行きたい研究テーマです。

Q函館の印象&休日の過ごし方は？

5年振りに帰ってきて、コンビニが増えているのに驚きましたが、新幹線開通の影響はあまり感じられませんね。時間が出来るとふらっと旅に出ます。内地での勤務時には全国各地を彷徨ったのですが、最近は近場ばかりです。

★ひと言★

お話を伺う間にも我が国有数ともいえる標本コレクションを担う重責がひしひしと伝わってきました。ホルマリン中毒にはくれぐれも気をつけてくださいね。

山木 将悟(平24資化)

水産食品科学講座
助教



Q着任時期と前職は？

2018年4月。現在の研究室で学位を取得後、日本学術振興会特別研究員として1年間研究に従事していました。

Qおもな研究テーマは？

食中毒を引き起こす細菌の増え方の研究をベースに、特

にバクテリオファージファージを用いた細菌の発育抑制手法の開発をおこなっています。ファージで細菌を抑制できることは100年ほど前から知られていたのですが、この技術は抗生物質の普及により忘れ去られていました。しかし近年抗生物質が効かない耐性菌の出現によって再び注目を集めようになっています。我が国ではファージを利用した食品除菌のための法整備は進んでいませんが、欧米では既に実用化もされています。

Q今後の展望は？

食品衛生学は社会的にもニーズが高いにも関わらず、何も問題が起こらない状態が理想であるため、脚光を浴び難い地味な分野といえます。しかし、日々様々な事例が全国で生じているので、少しでも食中毒を減らせるよう貢献できればと考えています。

Q函館の印象&休日の過ごし方は？

函館は実家のある道央と比べると道路が複雑で分かり難いですね。研究で菌の培養を行っているため、あまり休めない日々が続いています。趣味といえば熱帯魚の飼育それから外に出て写真を撮ることでしょうか。

★ひと言★

「良く冷やして置けば菌は増えにくい」「生ものは加熱すれば大丈夫」どちらも例外があるそうです。気をつけます!

食中毒検査なら信頼と実績の中山薬品商会へ 一検体@1,000円～承ります。

NAKAYAMA MEDICINES CO. LTD



株式会社 中山薬品商会

代表取締役 中山 一郎

本 社 ☎040-0075 函館市万代町20番10号 PHONE (0138) 40-6275・FAX40-3939
釧路営業所 ☎084-0903 釧路市昭和町2丁目15番地3 PHONE (0154) 52-4101・FAX52-4103
札幌出張所 ☎065-0031 札幌市北3条東19丁目6番14号 PHONE (011) 299-5493・FAX299-5493

<http://nakayamayakuhin.jp>



卒業生登録システム《@Frontier》にご登録ください。



公式サイトから登録可能です
<http://www.hokudai.ac.jp/frontier/>

hokudai.ac.jpドメインのメールアドレスは、北大卒業生の証。

PC・ケータイ・スマートフォンから、メールをはじめとする各種サービスが利用可能です。

北大を卒業しても、

@Frontierで他の卒業生や北大とつながりましょう!

利用資格は北大卒業生。

利用料は無料。

生涯にわたり

メールサービスが利用可能!

オンライン上で
会員検索ができる!

「私書箱」機能も利用可能!

1
公式サイトへアクセスし、新規申し込みのボタンをクリックします。

2
利用規約をご覧の上、ご自分のメールアドレスを送付後、送られてくるURLにアクセス。

3
登録申請フォームに必要事項を記入の上、データを送信していただきます。

4
本学で、データを確認後(※)、メールアドレスにIDとパスワードを送付いたします。

スマートフォンからも
アクセス可能です!



※1週間から10日程度要する場合がございます。

北大との絆をつなぐ一枚



UCカード株式会社
北海道大学カード



三井住友カード株式会社
北海道大学カード

申込み

UCカード専用ページから申込む

- UCカードサイト
- 新しくカードを作る
- UCカード一覧
- 北海道大学カード



[https://www2.uccard.co.jp/
card/lineup/hokudai.html](https://www2.uccard.co.jp/card/lineup/hokudai.html)

北大事務局
から申込む

専用申し込み用紙を送付いたしますので、下記宛にお名前・ご住所をお知らせください。
カードは、お申し込みから約1ヶ月後に、カード会社からご自宅にお届けします。

三井住友専用ページから申込む

- 三井住友カードサイト
- カードをつくる
- カード一覧
- 北海道大学カード



[https://www.smbc-card.com/
nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp](https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp)

北海道大学カードが北大生を支援する仕組み
北海道大学カードへの入会による取次手数料及びカード利用額に応じた提携手数料がカード発行元の北海道大学校友会エルムに還元され、これを「**大学生支援資金**」として北海道大学に寄附し、「**奨学金**」、「**留学支援金**」、「**課外活動への費用援助**」等に役立ててもらうこととしています。



※UCカードのみ

北海道大学カード

本学卒業生、教職員又は※在学生父母の方限定



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

お問い合わせ先

北海道大学総務企画部広報課
電話：011-706-2012/2072
kouhou2@jimu.hokudai.ac.jp

北海道大学校友会エルム
電話：011-706-2101/2102
kouyukai@general.hokudai.ac.jp

会員の受賞

CONGRATULATIONS ON WINNING

青柳 直樹氏（平2化）

平成30年度

地方衛生研究所全国協議会北海道・東北・新潟支部

「支部長表彰」受賞

西村 一彦氏（平2化）

平成30年度

地方衛生研究所全国協議会「会長表彰」受賞

板橋 豊(昭50化)

青柳直樹氏（平2化）は、平成30年6月28日青森国際ホテルで開催された平成30年度地方衛生研究所全国協議会において、北海道・東北・新潟支部 支部長表彰を受賞されました。青柳氏は平成2年水産化学科魚油化学講座を卒業後、同大学院に進学、修士課程修了後、株式会社ニチレイを経て、平成6年に北海道立衛生研究所に勤務し、現在に至っております。同研究所では、放射線化学や温泉保健の業務に従事し、検査・調査研究を精力的に進めながら、後輩の人材育成にも貢献してきました。その間、青柳氏は道内温泉水の化学分析、特にラドンの詳細な研究や道内温泉水がアトピー性皮膚炎の改善に有効であることなどを明らかにした研究を論文等で発表し、また、北海道における環境放射能のモニタリング調査や食事からの汚染実態などを詳細に調査した結果を公表してきました。特に、福島第一原発事故前後の影響についての報告は、北海道民の安全・安心へ大きく貢献しております。今回の受賞は、これらの業績が評価されたものです。

西村一彦氏（平2化）は、平成30年10月23日ベルヴィー郡山館で開催された平成30年度地方衛生研究所全国協議会において、会長表彰を受賞されました。西村氏は平成2年水産化学科魚油化学講座を卒業後、同修士課程に進学、修士課程修了後の平成4年から北海道立衛生研究所に勤務し、現在

に至っております。同研究所では畜水産食品中の動物用医薬品、環境汚染物質、貝毒等に関する検査・調査研究、健康づくりの業務等に従事しながら後輩の人材育成に尽力してきました。西村氏は、食品中の残留有害物質検査を通じ道民の安全・安心に貢献するとともに、高速液体クロマトグラフィー／質量分析法(LC-MS/MS)を用いた新たな検査法の開発・改良に取り組み、人体に有害なベンゼンやトルエンを用いないメチル水銀分析法を確立したり、アルコールがペニシリン系抗生物質検査に与える影響を明らかにするなど食品分析分野に役立つ研究を精力的に行ってきました。平成16年には、社会人大学院生として纏めた学位論文「脂肪酸蛍光誘導体の高速液体クロマトグラフィー／質量分析法に関する研究」に対し、博士号(水産科学)が授与されています。また、平成26年に「蛍光誘導体試薬を用いた脂肪酸の高感度分析法に関する研究」により北海道分析化学賞を受賞しております。これらの功績が評価され、今回の受賞となりました。

同時期に魚油化学講座で研鑽された両氏が受賞されたことは誠に喜ばしく、水産学部に学ぶ後進へのよい刺激になることでしょう。両氏の益々のご活躍を期待致します。

おしょろ丸グッズの開発

井尻 成保(平4ゾ)

一昨年のこと、水産学部広報委員会は当時学部長であった安井先生からおしょろ丸グッズの開発を依頼されました。委員会からは井尻、梶原、埜沢の3名、事務からは佐藤補佐、研究協力担当吉川さん、用度担当畠中さんの3名中心に1年近く企画を議論しました。まずは、カレー、そしてカバンやノートなどのグッズを製作することにしました。グッズ類は北大生協に依頼しスムーズに開発が進みましたが、カレーでは苦労しました。五島軒に製作依頼することが決まっていたのですが、先方からは自社製品との差別化を求められました。悩んでいたところ、高木船長から「海洋深層水を使用しては」とのアイデアを戴きました。陸上の委員では思いもよらないアイデアでしたが、五島軒側からも快諾を得ました。ちょうど、本船がカムチャッカ沖の定期調査に出かけるところでしたので、海洋調査部の今井助教(平4化)に依頼し、「海洋大循環」の湧出点の5000m深から採水してもらいました。以下、今井氏談「北西太平洋亜寒帯の外洋観測点KNOT(N44,E155)において観測機器を5000mまで降下させ採水しました。採取された海水は、北大西洋で深層に沈み込み南極海を廻って海洋大循環の終着点である北太平洋に約2000年を経て到達した深層水です。観測点KNOTは気候変動解明のため繰り返し観測を行う点とされています。しかし実は古くからおしょろ丸が定点観測を行ってきた、水産学部にとっての『思い出の観測点』でもあるのです」。

汲んできて貰った5000m深層水は井尻の研究室でろ過滅菌し、食品検査試験を受けて五島軒にてカレーに用いられました。1万食くらいは作りたかったのですが、大学当局の予算から「カレー作製代金」は制度上拠出できないことと、五島軒で使用できる製作ラインが一つしかないということで、わずか800食の作製となってしまいました。そのため、水



産学部生協のみでの限定販売となり、発売2週間後には完売てしまいました。同窓の皆様からも日々お問い合わせ戴きましたが、今回は外部向け販売できずに終わってしまったことをお詫び申し上げます。今後も作製を続けたいとは思いますが、委託を続ける限り増産は難しい状況にあり、他の方法を探る必要があるかも知れません。私自身の希望としては、1万食は作製して広く皆様にもお届けできるよう頑張りたいと考えております。

以上のようにカレーは試作に留まってしまいましたが、タオル、コースター、布カバンなどの「おしょろ丸グッズ」は北大グッズ販売のウェブサイトからご注文が可能です。

<https://www.hokudai.seikyou.ne.jp/univgoods/univ-suisan/>

ぜひ、ご覧ください。財政状況が厳しい昨今ですが、こうした活動もまだ学部の増収に結びついていないのが現状です。今後少しでも財政上でお役に立てばと、広報委員一同で考えております。

各種行事開催報告

北海道大学ホームカミングデー2018 水産学部卒業生の集い

高木 力(平元ギ)

平成30年9月29日(土)の北海道大学学術交流会館第一会議室において「北海道大学ホームカミングデー2018 水産学部卒業生の集い」が開催されました。今年は特別講演講師として水産学部卒・水産学研究科修士課程修了で国立研究開発法人水産研究・教育機構理事の中田薰氏(昭56ゾ)をお招きし、「水産研究所で海洋研究を行う～プランクトンを通じて気候・生態系・水産資源の変化を見る～」と題してご講演頂きました。

当日は現役学部学生や同窓生、教職員などおよそ60名の方々が聴講に訪れました。講演に先立ち木村研究院長からの挨拶、また、講演後にご列席された北水同窓会横山会長からもご挨拶を頂きました。



特別講師の中田薰氏

講演では中田氏が水産研究所勤務時代に長期わたり蓄積されたデータやプランクトン試料を活用し、プランクトン量の変化を通して世界規模の気候変動やマイワシ等の水産資源変動に及ぼす影響解明の研究の紹介が行われました。また、東日本大震災の折の水産研究所としての震災対応や研究所が行う海洋・環境研究の現状解説等の大変興味深い講演をして頂きました。講演後には中田氏とご来場のOB等が熱く質疑を交わされていました。

講演会終了後は、百年記念会館の「北大マルシェ」に会場を移し中田氏を囲み懇親会が行われました。現役学部生も参加し、年代を超えて同窓であることの縁をかみしめ、参加者はお互いの近況や思い出話に花を咲かせました。



講演会の様子



懇親会の様子その1



懇親会の様子その2

1964年入学or1968年卒業 北大卒業50周年記念パーティー

水戸 孝夫(昭43ギ)／四方 純(昭43食)



“いつの間にやら50年、会える内に旧交を暖め、これから的人生の糧に、10月東京でお会いしましょう！”
をコンセプトに、2018年10月31日東京神保町の学士会館にて12時から5時間、飲み・食べ放題で「北大卒業50周年記念パーティー」を開催しました。

開催の準備は、25年来の飲み・ゴルフの仲間「北大39会」メンバーが中心になって進めました。

今回の同期会は、部活・寮・下宿生活などで繋がりのある先輩・後輩・他学部卒業生にも声をかけ、

1957年卒	1名
1967年卒	19名
1969年卒	6名
農・獣医・理・工学部卒	7名
1964年入学/1968年卒	52名

の85名が参加して、にぎやかにまた一段と親睦を深めることができた集いとなりました。会はまず、参加することが叶わぬ一足早く逝ってしまった友らに黙とうをささげたあと、出席者に知己も多い小泉守さん(昭32セ)による乾杯の音頭で幕を開け、各グループごとに全員がスピーチをしたところで中締め。後半は藤田崧君(昭43食)の手品披露を皮切りに、自由に席を移動しての歓談。往時のクラブ活動・寮・下宿・学科・講座の仲間があちこちで再会を祝して写真を撮りあったり、昔話に花が咲き、

気がつけばもう4時半。ここからは、応援団吉川圭一君(昭44工)の出番。校歌、水産放浪歌、最後は都ぞ弥生を5番まで高らかに熱唱、フィナーレは北大万歳のエールにて終宴。

名残りはつきないものの、またの機会を楽しみにしつつ、充実した5時間を堪能、同窓同志の絆をあらためて確認することができました。

新たな取り組みとして、「共有アルバム」を立ち上げました。300枚ほどの写真がアップロードされています。閲覧方法はいたって簡単で、パソコンブラウザの左上部にあるアドレスバー(<http://>で始まる欄)に下記アドレスを入力いただければ、合言葉、パスワードなどの必要もなく、「北大卒業50周年記念パーティー」に辿ります。

URL:<http://30d.jp/hokudai3943/1>

(いずれも小文字です)

また、式典前日には協賛ゴルフを晴天下、新ペリアル方式にて千葉で17名が参加しておこない、実力No.1の小西詔二君(昭43化)がグロス85で優勝しました。

健康上の都合で参加できなかった方々の一日も早い快癒をお祈りいたします。

なお、参加者は右記のとおりです。

集合写真と名前との照合は、みなさんのご想像にお任せします。

参加者一覧

1957年卒 製造学科 小泉守

1967年卒 遠漁学科 加藤健三、工藤修、小平紘之

　　武川昌行、田中利勝、長繩裕

漁業学科 岸本富男、渋谷哲郎、橋本啓亨

　　藤井洋治、吉田史一

増殖学科 斎藤弘

製造学科 石崎巖、奥原大典

　　深谷(大森)捷子、深谷征四郎

　　牧野哲三、山内洋、渡辺研二

1969年卒 遠漁学科 重田親司、水野隆夫

漁業学科 大場清昭

増殖学科 高越哲男

食品学科 岩田伸康、西川和夫

農学部卒 鈴木修六

獣医学部卒 天形博茂

理学部卒 佐竹正治

工学部卒 友弘力、鳥潟肇、南平眞明

　　森輝男

1964入／1968卒

遠漁学科 小辻英二、深井尚武、藤井真一

　　山口皓、吉川圭一

漁業学科 岩田勇、小田島俊一、加藤泰久

　　小玉輝昭、斎藤勝、中山豊光

　　松井貞美、松吉重和、水戸孝夫

　　山崎宏、横堀一男

増殖学科 今井肇、春日清一、川崎悟朗

　　田口哲、田畑和男、西尾克彦

　　山口允彦

化学学科 梅津美智弘、金子信弘

　　城戸勝利、小西詔二、坂田周夫

　　眞田篤弘、嶋崎岩男、田中凡

　　二階堂勲、原祐二郎、富久尾肇

　　保古尚宏、町野剛、山本孝二

食品学科 池田信夫、岡田恵、北清勝昭

　　久保恭司、熊谷克彦、斎藤勲

　　境保司、四方純、高木和夫

　　高橋芳典、中村邦之、中村英世

　　藤田崧、三上篤、横田建彦

以上

第5回 開魚会報告

西川 和夫(昭44食)



後列左より

柄木田(昭45ギ)、室(昭45ギ)、吉原(昭46ギ)、大谷(昭47ギ)、木村(旧姓中泉)(昭45ゾ)、林(昭45食)、久保田(昭45化)

前列左より

西川(昭44食)、岩田(昭44食)、三上(昭43食)、斎藤(昭43ギ)、小平(昭42エ)、坂田(昭43化) 計13名(太字は当時の主将)

6月10日(日)新潟県佐渡島(相川・ホテル吾妻)にてラグビー部のOB会が行われました(第5回開魚会、13名出席)。あいにくの曇り雨模様でしたが、宴会が始まった直後にタイミング良く晴れ間となり、素晴らしい夕陽を眺める事が出来ました。又、同時にホテルの庭ではテナーサックスの演奏もあり感無量でした。宴会では地元幹事、木村さん(昭45ゾ)の進行で始まり、斎藤会長(昭43ギ)の挨拶、小平さん(昭42エ)の乾杯、そして宴会が始まりました。佐渡島の美味しい料理に舌鼓をうちながらOBの皆さんとの近況を語り合いました。三上さん(昭43食)のなか締め後も楽しい宴会は続き、その後いつものように水産放浪歌(大谷(昭47ギ)さんの序言葉)～都ぞ弥生で締めくくりました。二次会の前にはロビーで「佐渡おけさ」の実演があり、一緒に踊る者もおりました。二次会はホテル内のクラブが貸し切りとなり、全員が好きなカラオケを歌い、話がはずんでいました。翌日はマイクロバスにて観光で佐渡島観光しました。島は人口約6万人で漁業、農業と観光で成り立っているようです。まず佐渡金山を見学しましたが、掘った距離は440kmと佐渡島2周分との事です。ひたすら、金を求めて堀続けた当時の「ゴールドラッシュ」を思い浮かべます。次に

「トキの森公園」にてトキを見ました。闘魚会は、今から15年前(H15)の東京(日本)の元居酒屋;魚魚亭「なない」を皮切りに札幌(H24.6)→京都(H26.2)→東日本大震災の応援の気持ちで気仙沼(H28.10)→そして今回の佐渡島と、2年毎に地元幹事が中心となり開催してきました。次回は未開催の思い出の地、函館でやっておこうと言う事になり、1年後のH30.9月頃に開催する予定です。

第4回 昭和44年卒北水漁業学科同期会

伊藤 峰男(昭44ギ)



左側は前方から中島、太田、伊藤、横野、吉田(昭44食)
右側は前方から田中、阿部、谷口、水野(昭44工)、廣瀬

10月16日札幌のジャスマックで、今回は沖縄からの水野君と札幌の親友の吉田君の参加があり10名での同期会でした。札幌以外からは毎回、大阪の廣瀬君、四日市の谷口君、千葉の横野君、苦小牧の田中君が参加してくれています。難病を克服しているものも多いが、本当に皆元気に飲んでいました。会場を個室にしてもらったので、かなり賑やかに会話も弾み、「水産放浪歌」と「都ぞ弥生」を大声でがなり合うことも出来ました。体調不良や仕事などの理由で欠席者も居ましたが、全員から近況などの報告があり、これからも会えることを期待しています。毎回、北海道で実施しており、西日本の方には大変かもしれない。5月には名古屋で北水同窓会総会が予定されているので、そのときの懇親会にこの同期会を全学部合同で組み入れたらどうかと、愛知県の支部長の山口皓君と相談しています。

第5回「漁火会」開催報告

吉田 康祐(昭44化)



北斗市、ホテル秋田屋にて
(水産放浪歌の歌詞が書かれたタオル揚げ!)
前列左より：宮野、中山、橋本、原口
後列左より：伊藤、安村、三浦、後藤、大谷、高橋、吉田

「函館で5回目をやろうかー!」漁火会(北水柔道部親睦会)幹事伊藤と食事しながら決めたのは、1年前の北大正門前カフェテラスの中でした。実地日も会員の希望を集め観光シーズンをはずした11月とし、今回は思う存分語りあう為1泊泊りとしました。又この機会に我々北水柔道部の恩師河野辰五郎先生のお墓参りも兼ねて、誕生5回目記念に相応しい会へと大きく発展!場所も現地の中山様・三浦様の奔走で、大自然に恵まれた静かな北斗市のホテルへ決定いたしました。

その日11月13日!、初冬の街は我々の日頃の精進のための市内は朝から青空が広がり、我ら魂の故郷函館は参加11名を暖かく迎えてくれました。赤い灯、青い灯の松風町大門は寂れたとはいえ昔変わらぬ歴史を秘めた哀愁と郷愁の街に懐かしさがこみあげてきた次第でした。

宴会の前、先生のお墓参りで電停「谷地頭前」に2時に集まつたのは9名。再会を喜びながら立待岬に繋がる坂道をたどった先に先生のお墓は、大森浜を望む高台にひっそりと佇んでいました。安村氏持参の「般若心経」カセットを流しお花を添えお墓を清め思い出話に花を咲かせました。名残惜しくお墓を出て坂を下りると見上げれば見事な虹!天国で先生も喜んで頂いているのではと!。

名残惜しくお墓を後にし、約束の6時には場所を北斗

市のホテルに移し久しぶりの再会を喜びました。この日を待って集まつたのは、遠く関西からも含め総勢11名のかつての北水柔道部の猛者達!式は、ご逝去された恩師河野先生、同窓藤原様、佐藤(建)様、軽部様、安部様のご冥福を祈り黙祷の後、久しぶりに安村様の前口上で懐かしい「水産放浪歌」を声高らかに歌い、心温まる会をスタートさせました。美酒を重ねて学生時代にもどり時間を忘れての宴となりました。談論風発の中で大いに盛り上がつた事は①やはり体の事!皆どこかここかに故障?抱えやはり歳、つきあっていくしか無いねと。②道内組はやはり9月の地震!皆様それぞれ悩ましいドラマを披露されてました。③高橋様が最近とみに読書に励んでおられるとの事。一同驚愕!④関西より参加大谷様の有り難い言葉、これから余生全てを「ありがとう」で貫くと。一同日頃を反省。⑤皆この歳になって、寂れたとは言えしみじみ函館の良さを実感できた事。古い歴史と建物が大切に残され、あちこちに人情の温かみが感じられるこんな街はもう残り少なくなり新幹線の走る時代だが、今や連絡船、北洋漁業、大門の隆盛は無くとも、これだけは大事にして欲しいねと。話は尽きぬながら一端は「都ぞ弥生」を3番まで心こめて高らかに歌い中締めといつしました。今回は、1泊泊まりで時間が充分にあり各部屋に戻つてからも遅くまで話に花が咲きました。尽きぬ話の中、学生時代の練習、試合、合宿の秘話も暴露され大爆笑の一夜は更けて行きました。

明けて寝ぼけ眼で食堂に集まれば遠く駒ヶ岳に陽光燐燐!自然の中で美味朝食に舌づみうてば、まさにこの雰囲気こそ辛い合宿時の練習後の朝食を思い出し一同感慨新たにいつまでも話は尽きませんでした。まことに名残つきぬ中、次回札幌での再会を約束し散会と致しました。

追: ホテルを出て中山様のクルマで函館駅に向かう途中の9時頃だったでしょうか。万代町の居酒屋の玄関前に懐かしい顔が!偶然にも今回体調今一で出席出来なかつた飯野様が立つていたのです。たまたま彼が経営するお店から出てきた奇跡の出会いに一同感激。彼の目頭に熱い物が。

第60期(昭和45年卒業)同期会の報告

福田 一義(昭45化)



於 ホテル鹿の湯 花もみじ

左側から

前列: 石井達雄(ギ)、山本文夫(ギ)、岡崎俊彦(ギ)、村井茂(ゾ)

吉田正雄(ギ)、宮澤公明(ゾ)、坂下功(ギ)

中列: 庄司康広(食)、落合忠夫(ギ)、竹内郁夫(ギ)、上田稔(化)

大畠育雄(化)、室憲司(ギ)、根井良一(ゾ)、藤井孝弘(食)

後列: 白崎勝義(食)、末松陽一(食)、福田一義(化)、宇藤均(ゾ)

大槻知寛(ギ)、臼杵睦夫(食)、今泉晴夫(化)

平成30年10月14日(日)18時から翌日にかけて、定山渓温泉ホテル鹿の湯・花もみじにおいて、すでに古希を迎えた仲間が集い同期会を開催したので報告する。ほとんどの者はテレビ塔の北側から出る送迎バスに乗車して1時間程で、マイカー利用者は紅葉のはしりによる渋滞に巻き込まれながらもホテルに到着した。何と、雨天にもかかわらず、大槻は中央区の自宅から約23kmの行程をランニングで参加した。大槻はランニングとの関わりをまとめて出版しており、興味のある方は是非目にとめていただきたい。

全体写真を撮影した後、25名の物故者に黙とうを捧げ、村井幹事長の挨拶をもって宴は開会された。歓談しつつも、まだ現役を続行している、社会貢献している、趣味の世界を堪能している、色々自適な生活を送っている等々各自からの近況報告に耳を傾けた。また、岡崎による情感のこもった流暢な前口上に導かれて「水産放浪歌」、「逍遙歌」、「都ぞ弥生」を肩組み合つて意氣軒昂に歌い上げた。座を幹事部屋に移して、参加された少数精銳22名の旧交を温めあい、次回開催地への思いをはせて閉会となつた。

*出版物: 大槻知寛著

「走歴30年凡人スローランナーの足跡」

発行/風詠社、発売/星雲社、定価800円+税

北水同窓会長崎支部総会

渡邊 康憲(昭51化)



前列左より:長江真樹(平3ゾ)、星野浩一(平元ゾ)、
渡邊康憲(昭51化)、盛田祐加(平12生科)
中列左より:市川寿(平元博化)、征矢野清(昭61ゾ)、河邊玲(平6ギ)、
藤野(広瀬)美由紀(平14シ)
後列左より:北里海雄(昭61ゾ)、玄浩一郎(平元ゾ)、
斎藤類(平22生修)、山道 敦(平9ギ)、藤野忠敬(平19博生科)

平成30年10月27日(土)午後6時から長崎市浜口町のいけ洲居酒屋むつくらで平成最後の北水同窓会長崎支部総会が開かれました。昨年は準備期間が短く8名の参加でしたが今年は関係者の努力で順調に準備が整い13名の会員が集まりました。長崎支部の会員数は現在34名。出席率は38%です。もう一名参加の回答を頂いていましたが当日失念したこと、このおおらかさは長崎らしい気がします。案内は星野幹事長と長江会計幹事から全会員に差し上げており、ほぼ全員の方から出欠や近況の連絡を頂いています。

会は幹事長の開会宣言で始まり開会の挨拶では支部長の私から今年150年となる北海道の名付け親、松浦武四郎と長崎との係りの紹介と9月6日に発生した北海道胆振東部地震について個人的に知り得た情報をお話させて頂きました。函館では激震に加えて停電と情報阻害への対応に大きな苦労があったようです。この後、長江会計幹事から会計報告があり、引き続き欠席会員の近況報告、住所不明会員の照会が行われました。

その後ようやく懇親会に移り、乾杯、そして歓談となりました。今年は仕事などで函館を訪問した会員が数名あり学生時代とはずいぶん変わった街や水産学部の

様子が話題になりました。私のように昭和の時代に水産学部を卒業し遠隔地に住んでいる者には母校の発展とそれに伴う変化はよく分からぬ所があります。今の大學生生活の様子など若い会員の方にたくさん支部会に参加して頂き分かり易く説明して頂きたいと思っています。この他、NHKで放送された忍路丸北極海調査の様子や同じく直前に放送された函館のラッキー・ピエロ(私の頃にはまだ無かった)の話題等で学生時代を思い出し、大いに盛り上がりました。自己紹介では職業柄なのか、皆さん舌が滑らかで、征矢野会員からトイレ休憩の提案が出されるほどでした。最後は星野幹事長、河邊会員の前口上で都ぞ弥生と水産放浪歌を皆で合唱し記念撮影、再会を約してお開きとなりました。

同窓会では同じ職場の同僚でも普段話さない話題に新しい発見があります。様々な交流と情報交換を通して新しい仕事や趣味が生まれることもあるようです。来年はどんな交流が生まれるか楽しみです。

北水同窓会長崎支部 有志飲み会報告

渡邊 康憲(昭51化)



後列左より:征矢野清(昭61ゾ)、征矢野(森下)香織(昭63ゾ)、
蓮平裕次(平22増生)、河邊玲(平6ギ)
前列左より:星野浩一(平元ゾ)、渡邊康憲(昭51化)、
市川寿(平元博化)

今年は年初から例年にならない寒い日が続いていましたが2月2日(金)長崎市浜口町の料亭「むつくら」で同窓有志の飲み会を行いました。29年度の長崎支部会総会は昨年11月に開いたのですが、長崎大学関係者が国際シンポジウム開催期間に重なり参加できなかったので、

“年に一度は同窓で一緒に飲む!”を実現するため、星野幹事長と長江会計幹事の尽力でこの会を開くことになりました。会費は飲み放題付き(鍋コース)4000円。長崎は魚の種類が多く新鮮・美味かつ低料金! 実に良いところです。会は要は新年会です。少人数なので学生時代の思い出や現在の仕事のことなど皆で話が弾みました。征矢野会員は近頃は重い責任を担う年代となり自分の研究に取り組む時間はほとんどとれない様子。征矢野夫人は釧路出身とのこと。私は50代後半の2年間、釧路で単身赴任生活を送りました。釧路は、酒と魚がまことに美味しい、また札幌と違って冬雪が少ない、鮮烈な自然を満喫しながら、一度も病気をせず快適に過ごさせてもらった私の大好きな街です。河邊会員は亜熱帯から亜寒帯を舞台に高次捕食魚類など(シイラ・クロマグロ・マツカワ・オオミズナギドリほか)にハイテク電子タグを取り付け(バイオロギング)行動生態の解明に取り組み着々と成果をあげています。蓮平会員は鹿児島県出身とのことですが長崎大学で研究生活をスタートしたばかり。今後の活躍が大いに期待されます。星野会員は魚類分類の専門家ですが中国史や漢文にも造詣が深く、今回も大いに蘊蓄を披露してくれました。市川会員は隣の席でしたが高分子化学講座出身とのこと。私は同じ水産化学科で隣の分析化学講座出身ですが、学生時代お世話をされた高分子化学講座の辻野勇先生のことを思い出しました。恰幅がよかったです。授業は、とても大きな声で分かりやすく、様々な例をあげて熱心に説明して下さいました。しかし出来が悪かった私は本試験も追試も落ちて、最後はアルギン酸に関する短い英語論文を全訳して救済していただきました。また、大学院生時代、私は夜型で夜遅く実験をしていましたが、辻野先生はよく大学に泊まっていたようです。ある夜中、実験室に辻野先生が息を切らせて来られ、「渡辺、この本読んでみろ」と勧められたのが、綱淵謙鏡の名作「斬」です。「子連れ狼」のモデルになった公儀介錯人山田浅右衛門一族をモデルにした小説です。私はずっと後年、出張中の新幹線の中で読みましたが、恐ろしくて途中で読み進められなくなりました。あんな作品を夜中に読んでおられた先生は本当に不思議な方だったと、市川会員と二人うなづきあつたことでした。

昭和53年度特設専攻科卒業同期会

河野 象威(昭52ギ)



昭和53年度特設専攻科卒業40年目を記念して集まるという柳川君、表君の声がけで、平成30年6月22日に同期会を函館の居酒屋「田にし」で行いました。同期のメンバー10人中、海外出張中と体調不良の2人を除く、8名が全国各地から集まり、現役時代特にお世話をされた医務室の元看護婦鵜沼ワカさんも加わって9名で楽しい一時を過ごしました。

卒業以来、40年振りに会う懐かしいメンバーもあり、髪の毛の色や量、腹の出っ張りなど外見的にはそれなりの時間の経過が伺えられましたが、皆が集まると気持はずっかり学生時代に戻ってしまいました。鵜沼さんや表君、須永君達が持参してくれた当時のアルバムや資料を見ながらおしゃべりやアラスカやオーストラリアへの練習航海などの想い出話に花が咲き、あつという間に3時間が過ぎてしまいました。

最後に鵜沼さんのリクエストによる「水産放浪歌」を歌い、記念写真を撮影して、次回は4年後に関西での再会を約束して解散しました。次は是非、全員集合したいものですね。

幹事の青井さんよろしくお願いします。

水同窓会宮城県支部平成30年度総会が 12月1日(土)にホテル白萩(仙台市)において開催されました。

稲田 真一(平15海)



左から

1列目:石井達雄(昭45ギ)、昆布屋紀寿(昭40セ)、佐藤秀雄(昭42ギ)、小池幾世(昭53ギ)、落合時三郎支部長(昭49ギ)、藤本俊彦(昭24セ)、佐々木一弘(昭25セ)、安藤省吾(昭32セ)、佐藤秀明(昭36セ)、武川昌之(昭42エ)

2列目:富久尾肇(昭43化)、小野秀悦(昭51ギ)、瀧谷和明(平25資化)、阿部拓三(平11ギ)、稲田真一(平15海)

3列目:佐藤哲也(平4ゾ)、小野寺毅(平2化)、長谷川裕康(昭62ギ)、山下和則(昭54ギ)、山岡茂人(昭54ゾ)、北川大二(昭49ギ)、高橋清孝(昭49ゾ)、伊藤貴(昭61ゾ)、佐伯光広(平1ギ)、菊地朋和(平8ゾ)

北水同窓会宮城県支部平成30年度総会が昨年12月1日に仙台市において開催されました。例年よりも多い27名の出席がありました。

総会前に昨年亡くなられた先輩へ黙祷を行ったのち、落合時三郎支部長(昭49ギ)から支部長挨拶があり、事務局から平成29年度の収支決算、役員改選及び会費の議事が行われ、すべて了承されました。役員改選により小池幾世氏(昭53ギ)が新しい支部長に、山岡茂人氏(昭54ギ)が新しい幹事長となりました。

総会終了後には、恒例の同窓生によるミニ講演会が行われました。今回は阿部拓三氏(平11ギ)から「南三陸町志津川湾のラムサール条約登録について」の演題で話題提供と、その他として稲田真一(平15海)から「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～大会テーマ・コスチュームデザイン募集について」の

情報提供がありました。

懇親会では、佐藤秀雄幹事長(昭42ギ)の乾杯の音頭で開会となり、例年通り各出席者から近況報告が行われました。

最後に阿部拓三氏の前口上で「都ぞ弥生」と「水産逍遙歌」を全員肩組んで歌い、来年度の再会を約束し散会となりました。

□学位取得者

【平成30年9月取得】

黒田 実加 小型ハクジラ類の頭部発音器官におけるクリックスの伝搬経路と周波数帯域決定過程の音響学的検討

流石 啓司 産業廃棄物の有効利用に向けた廃棄養殖ノリからの高品質寒天の抽出と応用に関する研究

□会員異動

○平成30年5月1日付 採用

中屋 光裕 水産学部前特任助教が水産科学研究院准教授に採用

○平成30年8月1日付 採用

熊谷 祐也 大学院水産科学研究院助教に採用

○平成31年1月1日付 採用

佐々木貴文 大学院水産科学研究院准教授に採用(鹿児島大学水産学部准教授より)



株式会社
竹田食品

代表取締役 竹田寿広

食卓に函館の味を



本社工場	函館市浅野町3番10号 TEL (0138) 43-1110 (代) FAX (0138) 43-1113
札幌営業所	札幌市中央区北13条西19丁目1番1号 (水産保冷配送センター 3F) TEL (011) 623-0990 FAX (011) 644-9910
竹田食品販売㈱	東京都中央区築地7丁目5番3号 (紀文第一ビル 2階) TEL (03) 6226-6820 FAX (03) 3545-2135
竹田食品販売㈱	宮城県仙台市青葉区本町2丁目9番8号 (日宝ビル 5階 3号室) 仙台営業所 TEL (022) 772-1970 FAX (022) 722-1987
竹田食品販売㈱	大阪府大阪市淀川区西中島4丁目3番5号 (NLCセントラルビル 5階) 大阪営業所 TEL (06) 6307-5311 FAX (06) 6307-5358



会員死亡通知

沼倉 忠弘	(特別会員)	平成30年 3月22日	ご家族様より
中部新次郎	(昭16セ)	平成30年 9月	ご家族様より
内海 孝	(昭18セ)	平成28年 8月 8日	ご家族様より
柿本 史郎	(昭19ギ)	平成30年 4月12日	ご家族様より
浜口 浩平	(昭19セ)	平成30年 7月 5日	ご家族様より
正戸 孝一	(昭20ギ)	平成30年 6月 7日	ご家族様より
平田 剛	(昭20ギ)	平成30年 9月 9日	ご家族様より
東井 泰造	(昭23ギ)	平成30年 5月12日	ご家族様より
漆原 州二	(昭23エ)	平成30年 8月 8日	ご家族様より
佐藤 裕	(昭24セ)	平成30年 8月25日	ご家族様より
宇田 貞吉	(昭24ゾ)	平成30年 9月 6日	ご家族様より
木太 英男	(昭25セ)	平成30年 6月 9日	ご家族様より
小山 磐	(昭25セ)	平成25年	ご家族様より
桃生 和夫	(昭25セ)	平成30年	宮城県支部様より
伊藤 博	(昭25ゾ)	平成30年 9月14日	ご家族様より
寺嶋 朴	(昭25ゾ)	平成30年 4月12日	ご家族様より
吉田 純悦	(昭25ゾ)	平成30年 8月28日	ご家族様より
渡辺 慧二	(昭25ゾ)	平成29年 1月15日	高杉 勉(昭25ゾ)様より
木村 順治	(昭26ギ)	平成30年 9月 6日	納代 正信(昭28セ)様より
前田 辰昭	(昭26エ)	平成30年12月18日	学内より
武田 恵二	(昭26ゾ)	平成30年12月 4日	ご家族様より
山野寺 宏	(昭28ギ)	平成14年	田中 修(昭28セ)様より
佐藤喜三治	(昭28エ)	平成30年 3月	ご家族様より
遠藤 清美	(昭28セ)	平成30年 9月14日	ご家族様より
渋谷 和夫	(昭28セ)	平成17年頃	田中 修(昭28セ)様より

会員死亡通知

東 廣 (昭29ギ)	平成30年 8月 2日	伊藤 一(昭29ギ)様より
原田 久 (昭30ギ)	平成30年 9月16日	大島 栄一(昭30エ)様より
佐々木 良 (昭30セ)		ご家族様より
宮武 辰朗 (昭31ギ)	平成30年 7月23日	ご家族様より
山本 定男 (昭31エ)	平成30年10月19日	ご家族様より
松浦 哲夫 (昭34セ)	平成30年11月 2日	ご家族様より
東 幹也 (昭35セ)	平成30年 9月18日	ご家族様より
岡 弘康 (昭35セ)	平成30年 3月	ご家族様より
下村 軍治 (昭35ゾ)	平成30年 9月 1日	平野 亮一(昭35セ)様より
松原 史朗 (昭36ギ)	平成30年11月 7日	ご家族様より
岡崎 敏克 (昭36エ)	平成30年 9月 7日	ご家族様より
金子 孝 (昭36ゾ)	平成30年 9月 5日	ご家族様より
町田 建治 (昭36ゾ)	平成31年 1月 3日	ご家族様より
佐藤 成己 (昭37エ)	平成30年 7月 4日	ご家族様より
一星 哲司 (昭37ゾ)	平成30年 4月	ご家族様より
林 安征 (昭38ギ)	平成29年 5月26日	ご家族様より
近藤 好夫 (昭38エ)	平成30年 8月15日	ご家族様より
村元 泰雄 (昭39セ)	平成30年 8月20日	ご家族様より
山内 寿一 (昭40セ)	平成31年 1月15日	八戸支部様より
佐藤 建 (昭41セ)	平成30年 9月27日	四方 純(昭43食)様より
木谷 一成 (昭45化)	平成25年11月23日	福田 一義(昭45化)様より
水口 京子 (昭45ゾ)	平成29年 2月 2日	後藤 晃(昭45ゾ)様より
井ノ口伸幸 (昭52ゾ)	平成30年 7月10日	ご家族様より
山内 高博 (昭55ギ)	平成30年 8月30日	青森県支部様より
赤松 広壯 (平8食)	平成27年 4月 1日	ご家族様より

結果：印刷体の名簿の存続についてのアンケート

先の親潮で名簿発行につきまして皆さんのご意向を伺いました。平成31年1月の時点で108回答(複数回答有)を頂き下記の結果となりました。

- | | |
|---|-----|
| 1)今まで通りに印刷体の名簿を発行し、配布した方がよい。 | 16名 |
| 2)インターネットで会員情報を検索できれば、印刷体は廃止してよい。 | 41名 |
| 3)インターネットで会員検索を検索できれば、印刷体は希望者のみへの配布でよい。 | 25名 |
| 4)印刷体の希望者に配布するのみでよい
(インターネット検索なし)。 | 17名 |

- | | |
|-------------------------------------|----|
| 5)印刷体を廃止し、インターネットでの会員検索も必要ない。 | 4名 |
| 6)その他(印刷体の希望者に実費で販売する、発行の間隔を長くする、等) | 5名 |

この結果から、印刷体の存続を希望される方がおられる一方で、インターネット検索の要望が強いことが分かりました。同窓会本部では、頂いたご意見を基に今後の方針に役立てたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

[編集後記]

今号～次号の編集担当幹事を拝命いたしました。慣れない作業ゆえ粗相があるかもしませんが、ご寛恕願います。さて日本国内ではいわゆる団塊世代のリタイアがひと段落した頃かと思いますが、水産学部は現在も世代交代期にあり、若手の教員が次々と採用されています。そこで今号の特集「北水の今」では、最近2年間(2018年4月以降)に採用された助教の先生方を紹介させて戴くこととしました。掲載を御快諾のうえ取材に御協力いただいた9名の先生方に、この場を借りて篤く御礼申し上げます。色々興味深いお話を伺ったのですが、限られた誌面と編集者の力不足のため十分にお伝えできていないのが心残りではあります。なお海洋生物学講座の石原千晶先生(平22増生)にも御登場願いたかったのですが、取材時に産休中であったため叶いませんでした。できれば次号で御紹介できればと考えております。

各種行事開催報告として、北大の同窓生が集う「北海道大学ホームカミングデー2018 水産学部卒業生の集い」の開催の模様を掲載しております。是非とも内容をご覧ください。また、次回、名古

屋市で開催する北水同窓会定期総会の案内および参加申込書を掲載しております。近郊の方々をはじめご都合がつかれる会員の皆様は、是非ともご参加ください。

次年度第1号(通算313号)の原稿の締め切りは、2019年7月10日(必着)とさせていただきます。寄稿につきましては、郵送もしくは電子メール(hokusualumni@gmail.com)にて受け付けております。支部報告や同期会報告、著者の紹介など、多くの原稿をご投稿下さいますようお願い申し上げます。また、親潮では同窓の方々の交流形態として「同窓生の声」の広場を設けております。また、同窓会誌に対するご意見やご感想などを募集しております。詳しくは下欄に掲載しております投稿規定をご参照ください。

また、支部総会や同期会の開催時の写真や開催案内を北水同窓会のホームページ(<http://Hokusui.net/>)にて掲載しておりますので、是非ご覧ください。

編集幹事／山村 織生(平元ギ)

親潮投稿規定期

【寄稿、支部・会員便り、会員の受賞、ご案内など】

一つの投稿につきA4版・1ページ(2000字程度)までとする。この制限以上の長文あるいは連載を希望される場合は2号分までとする。写真を入れる場合、その分の文字数が減る。また写真はホームページに掲載することもできる。原稿は、同窓会宛に封書で郵送するか、同窓会のメール宛に送付することとする。

【同窓生の声】

各種活動や出版物の告知・紹介、本誌への感想など。個人的な連絡は対象とせず、1記事につき300字以内。同窓会あてのメール(hokusualumni@gmail.com)にて受け付けます。写真は入れられません。

平成31年3月発行

北水同窓会

〒041-8611 函館市港町3-1-1 TEL & FAX.0138-42-3681
E-mail:hokusualumni@gmail.com



つるはち

株式会社 釣八

URL <http://www.tsuru8.co.jp/>

よく間違えられますが、「つるはち」って読みます。

社長の名前が「つるみ」だから。

世界中の海から、イカ、赤魚、サバ等なじみのある水産物を、

いま、求められるかたちにして、お届けできるように奮闘努力刻苦勉励

代表取締役社長 釣見 泰之(昭和59年 漁業学科卒)

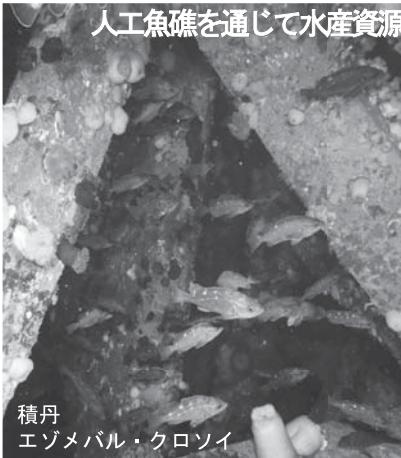
【水産学部卒業社員】 土井 倫行(昭和60年卒) 奥田 和人(昭和60年卒)

本社

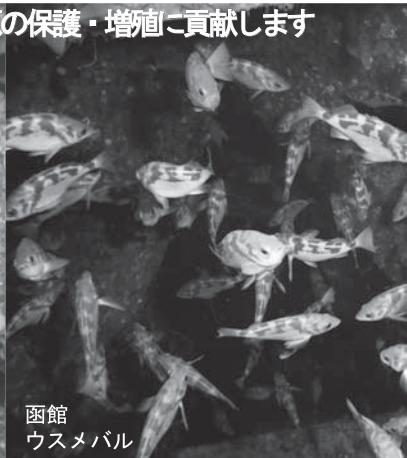
〒104-0042 東京都中央区入船3-8-7 ザ・ロワイヤルビル2F
TEL03-3297-8883 FAX03-3297-8885

八戸支店	〒031-0082 青森県八戸市常海町13-2 サンデュエル内丸1203	TEL 0178-71-3488
銚子支店	〒288-0051 千葉県銚子市飯沼町186-93 八木友ビル2F	TEL 0479-25-8822
大阪支店	〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江3-14-12 イイダビル2-2A	TEL 06-6532-8886
福岡支店	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-18-28 フクオカビル7F	TEL 092-401-8828
関連会社	築地:(株)釣十(マグロ仲卸) 中国:大連釣八(水産物加工) アメリカ・ロスアンジェルス:フィッシングエイト タイ・バンコク:釣八タイランド	

人工魚礁を通じて水産資源の保護・増殖に貢献します



積丹
エゾメバル・クロソイ



函館
ウスメバル

海洋土木株式会社

〒104-8139 東京都中央区銀座 3-9-1 1
<http://www.kaiyodoboku.com>

代表取締役 木實谷浩史 (54才)
取締役副社長 石井直志 (49才)
青森営業所長 山口伸治 (49才)
北陸営業所長 魚住昭文 (52才)
札幌支店部長 日和久典 (平6才)



F P 魚礁



カルベース付き
F P 1. 5 G



オクトム

いま豊かな食生活。・・見直しましょう魚のある暮らし。

青森市中央卸売市場卸売業者

中川

青森中央水産株式会社

代表取締役会長 石川 栄一

代表取締役社長 塩谷 康之助

〒030-0183 青森市卸町1番1号 (青森市中央卸売市場内)
TEL 017(738)1181 ホームページ : <http://www.aochuu.co.jp>

交通事故、労働災害、医療過誤、倒産、債務整理、サラ金破産
個人再生、未払い残業代請求、離婚、相続、遺言、成年後見

相談料は全て無料です

吉原法律事務所

札幌弁護士会 弁護士 吉原美智世
(昭和48年増殖学科卒業)

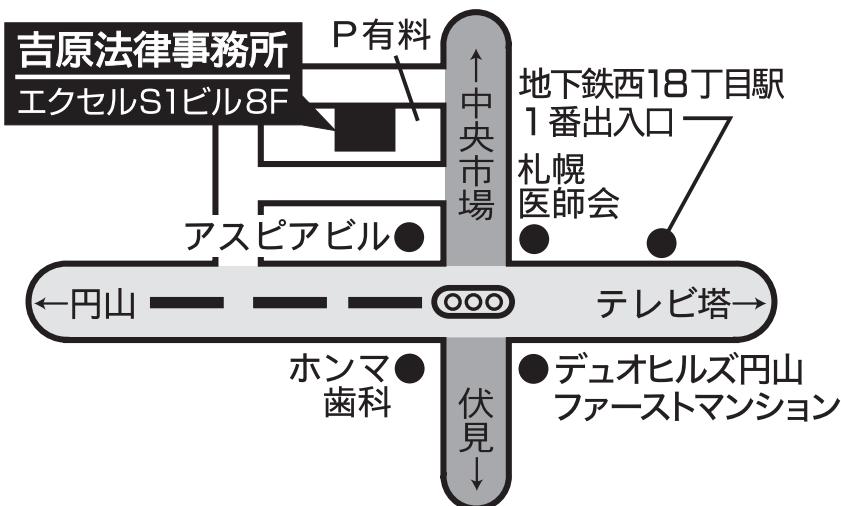
お気軽にお問い合わせ下さい

TEL 622-7963 FAX 622-8414

札幌市中央区大通西20丁目2-20(エクセルS1ビル8F)

(交通)東西線西18丁目地下鉄1番出口

(E-mail) lawyer@yoshihara-lawoffice.jp



営業時間においでになれない方はご相談下さい。